

大船渡湾内観測結果(No.12)

“今月の話題”

湾内の水温は7～8℃台であり例年よりも1～2℃程高めとなっています。二枚貝等の餌の量を示すクロロフィルは湾内全域で高く、湾奥程高い分布でした。

3月13日に行った大船渡湾内観測結果をお知らせします。

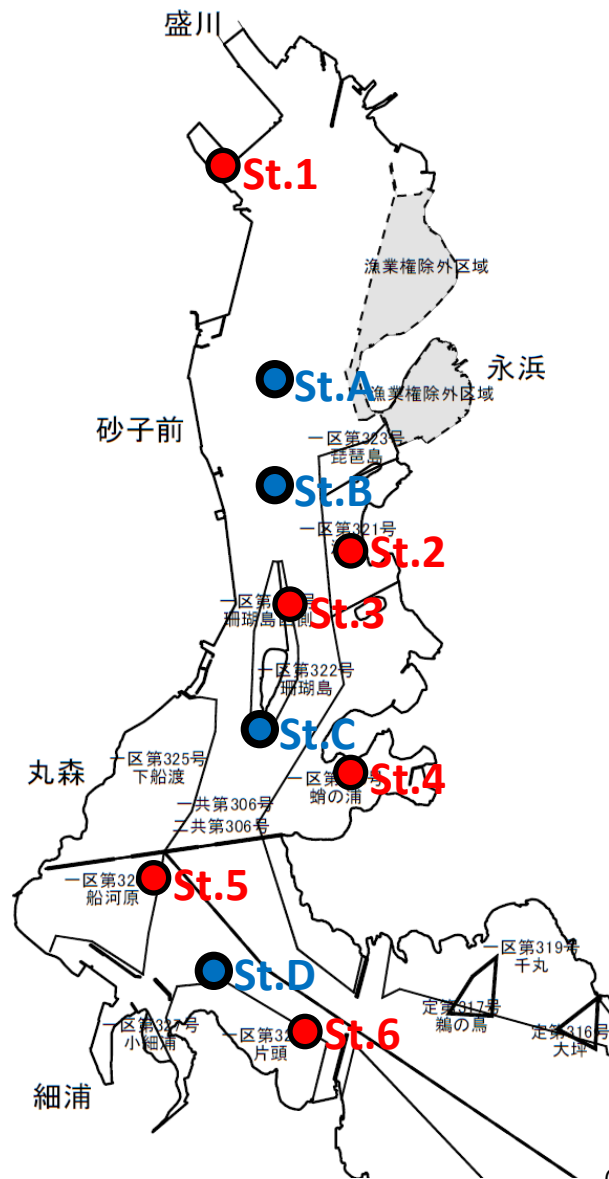
透明度は5.0～10.0mであり、平成18年度から平成27年度の平均値と比べて、-0.9～+2.8mの範囲内でした。

水温は水深2.5mが7.1～8.0℃、水深10mが7.8～7.9℃でした。平成18年度から平成27年度の平均値と比べて、水深2.5mが+0.7～+1.5℃の範囲内、水深10mが+1.7℃でした。

海域名:大船渡湾

調査担当:水産技術センター、大船渡水産振興センター、大船渡市

観測点(St.)		1	2	3	4	5	6
観測年月日		2017年3月13日					
観測時刻		11:26	11:41	11:08	10:52	10:34	10:12
天候		曇					
気温(°C)		4.5					
風向		-					
風力		0					
水深(m)		8.7	24.3	27.1	19.1	26.6	38.1
透明度(m)		5.0	8.0	7.0	10.0	9.0	10.0
水色		7	6	6	5	6	6
水温(°C)	表層0m	8.0	7.3	7.3	7.3	7.0	7.1
	水深2.5m	8.0	7.6	7.5	7.3	7.1	7.1
	水深10m	-	7.8	7.8	7.9	7.9	7.8
	海底上1m	7.9	7.8	7.9	7.9	7.9	7.9
塩分	表層0m	33.2	33.3	33.1	33.5	33.3	33.5
	水深2.5m	33.5	33.5	33.4	33.5	33.4	33.5
	水深10m	-	33.9	33.8	33.8	33.8	33.8
	海底上1m	33.8	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9
溶存酸素飽和度(%)	表層0m	122.4	118.8	119.6	114.2	116.7	119.6
	水深2.5m	127.1	120.8	123.4	115.3	118.6	119.7
	水深10m	-	116.4	117.5	117.7	121.4	112.5
	海底上1m	107.4	100.7	100.3	103.7	102.9	104.9
クロロフィル(Chl-Flu.(ppb)) ※観測機器の測定値	表層0m	2.4	1.4	1.4	0.2	0.9	1.3
	水深2.5m	4.8	1.4	3.3	0.2	1.3	1.8
	水深10m	-	7.7	6.4	4.5	4.8	2.4
	海底上1m	7.3	1.3	1.1	1.1	1.6	1.9



©岩手県（漁業権連絡図）

図1 大船渡湾調査定点図

※St.1からSt.6において透明度の観測や表層0mから海底上1mの水質を観測した。
 St.AからSt.Dにおいて表層0mから水深10mの水質を観測した。

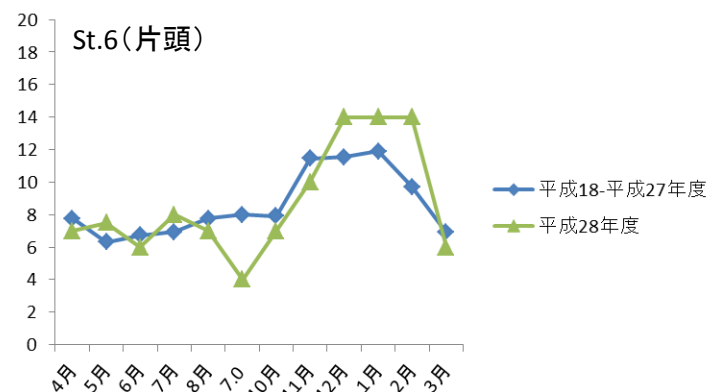
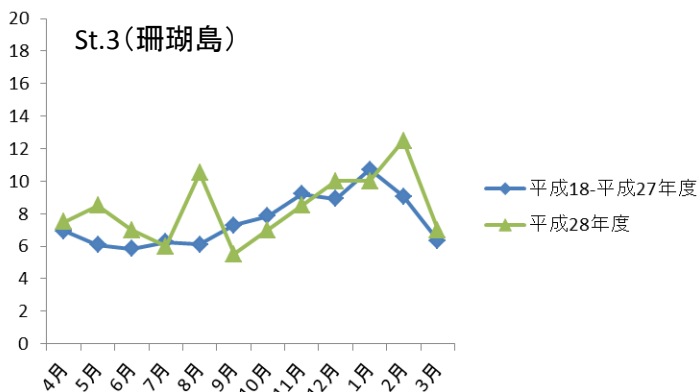
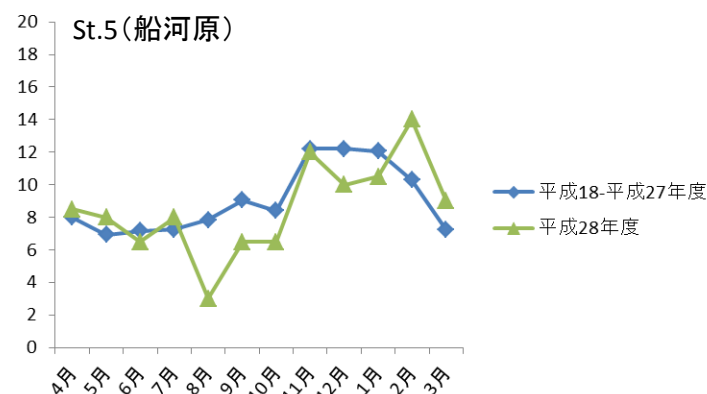
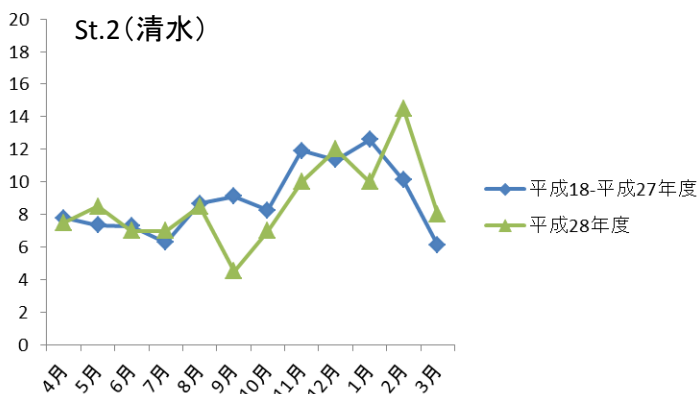
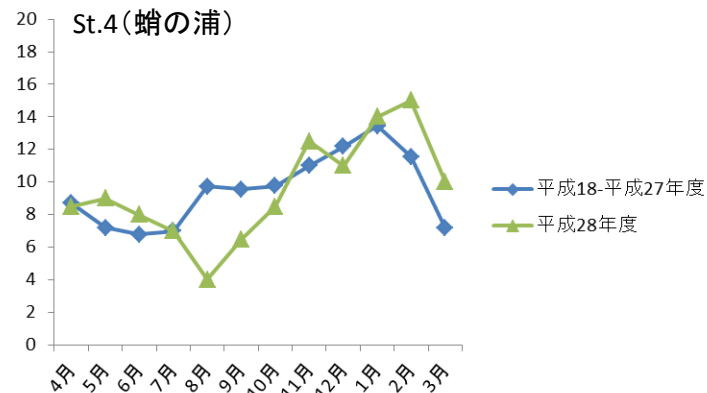
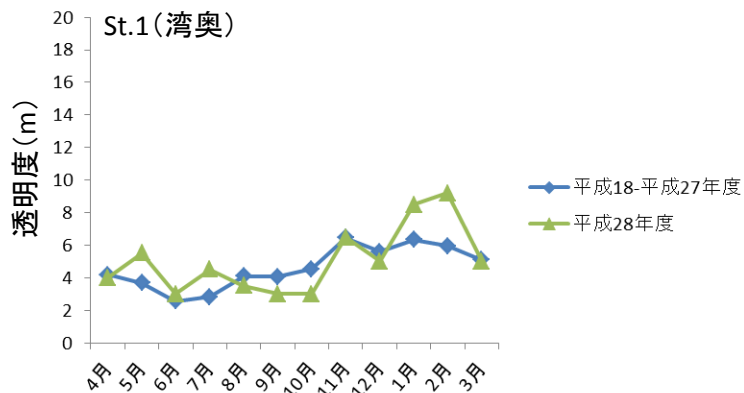


図2 透明度の推移

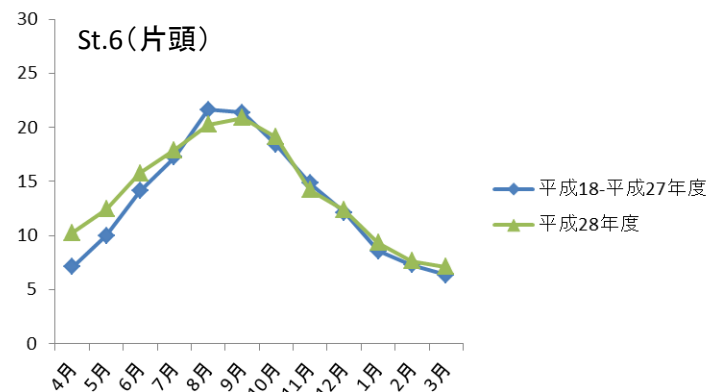
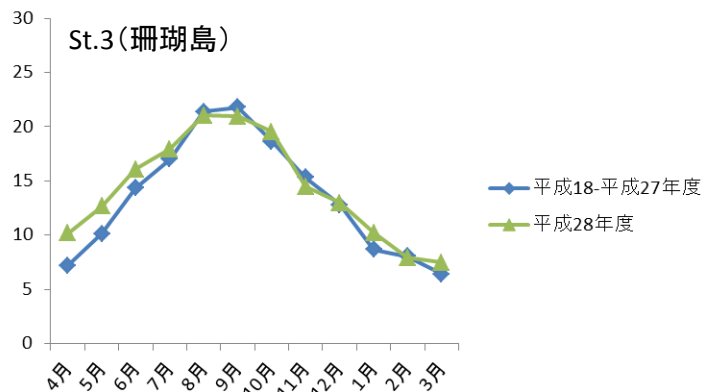
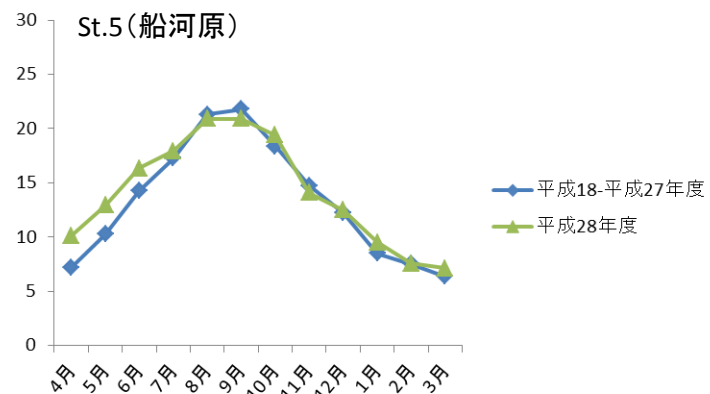
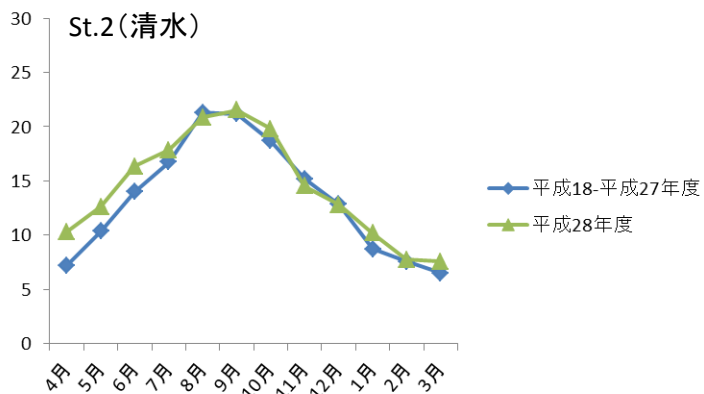
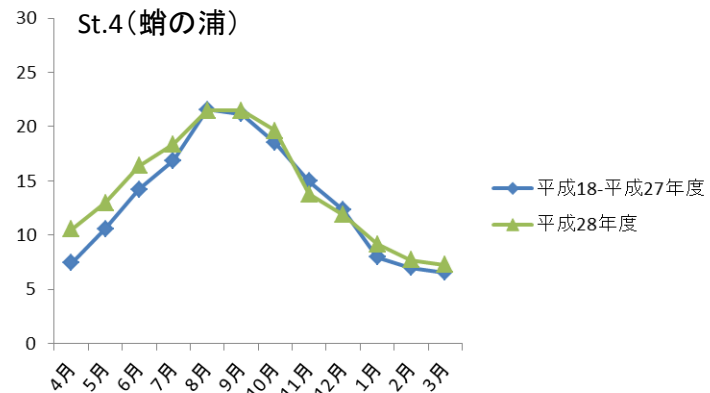
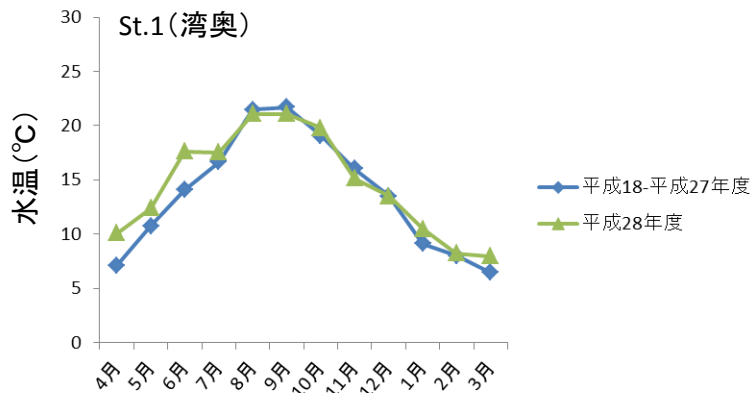


図3 水深2.5mの水温の推移

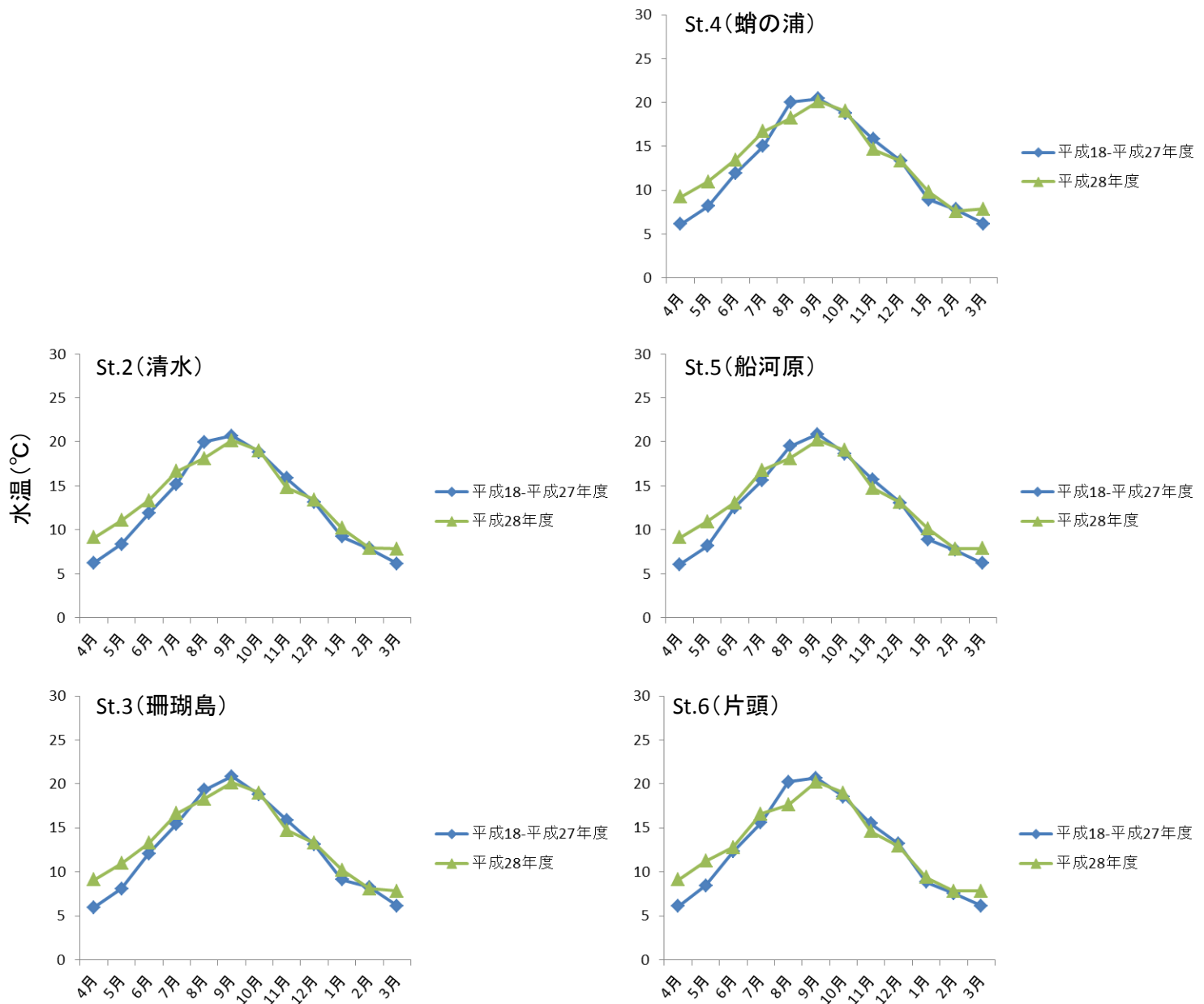


図4 水深10mの水温の推移

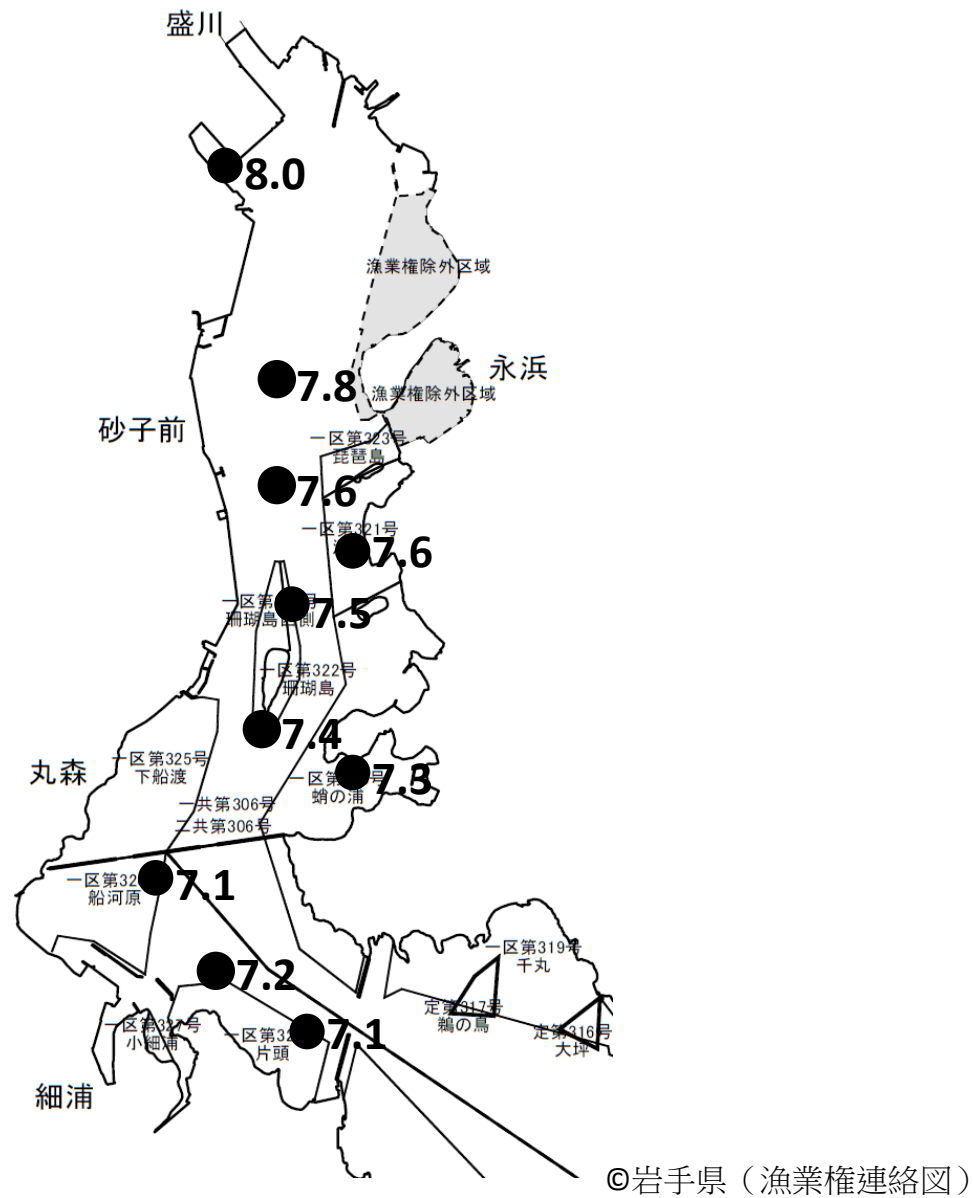
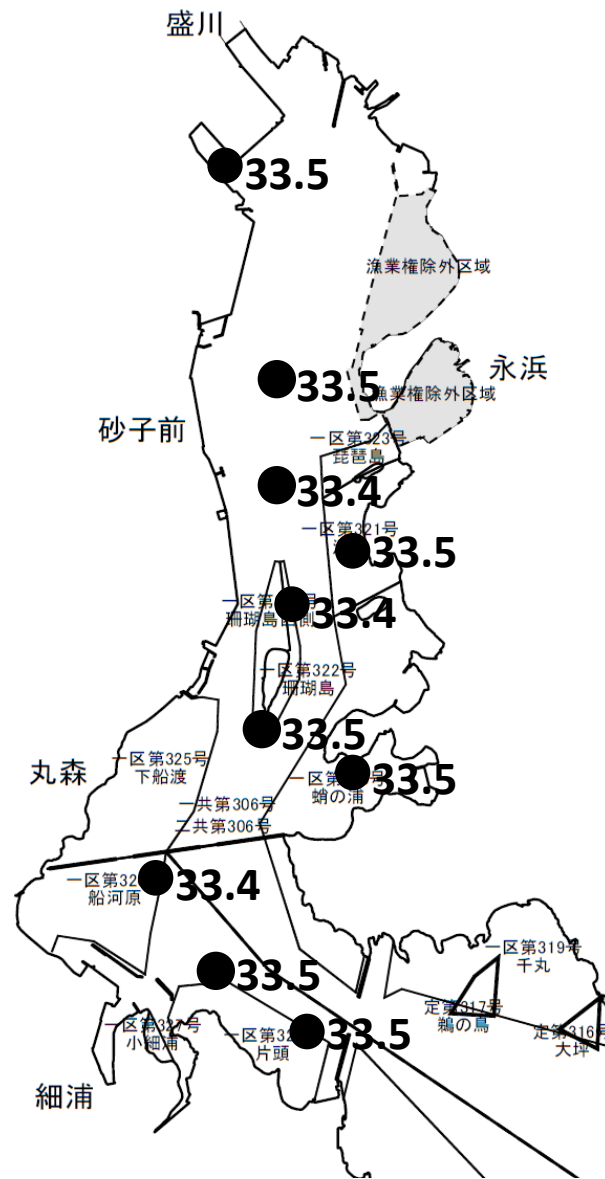


図5 水深2.5mの水温の分布

※湾外から湾内に流入する海水、陸から湾内に流入する河川水、降雨や気温の影響を受けて湾内の水温は変化する。



©岩手県（漁業権連絡図）

図6 水深2.5mの塩分の分布

※湾外から湾内に流入する海水、陸から湾内に流入する河川水、降雨の影響を受けて湾内の塩分は変化する。

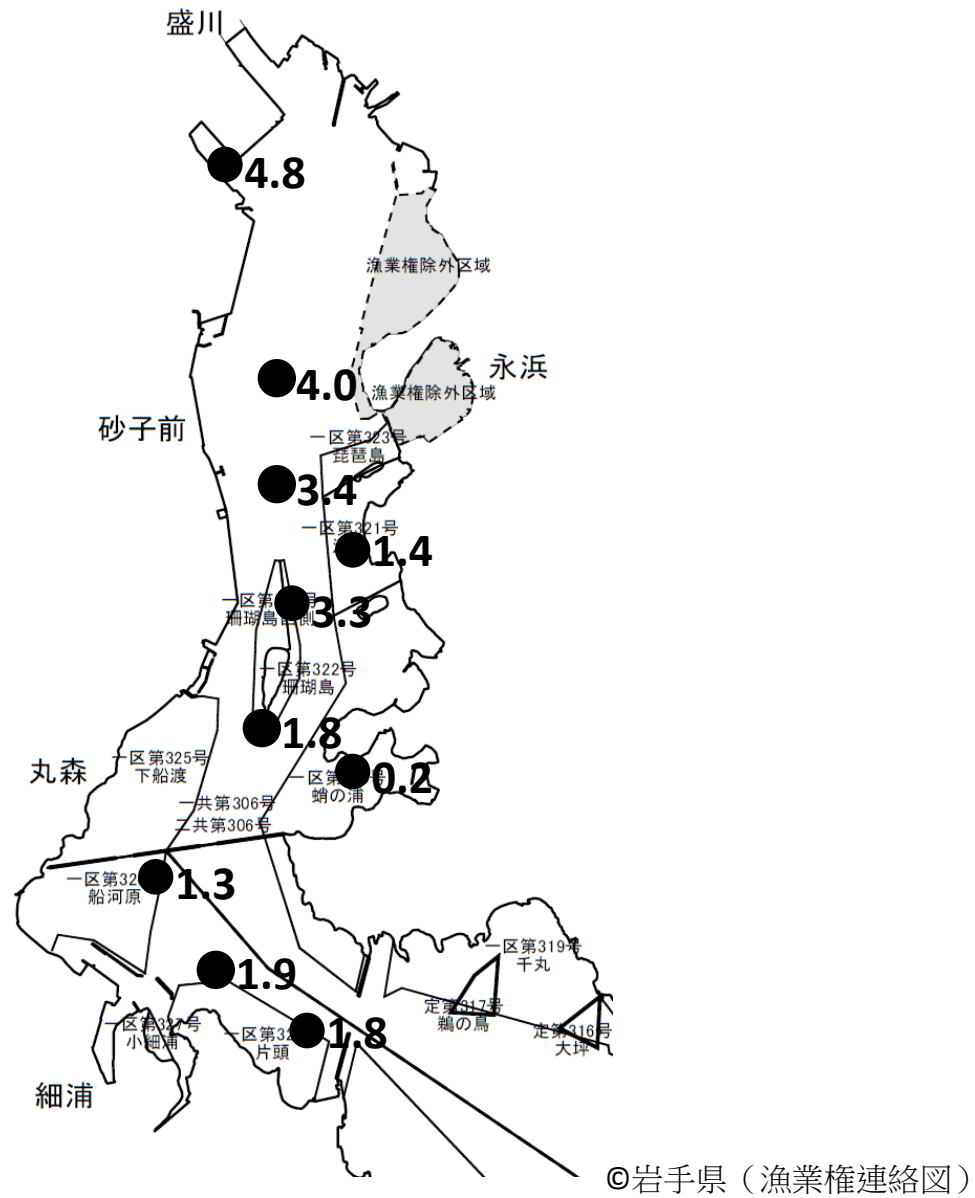


図7 水深2.5mのクロロフィルの分布

※クロロフィルは植物プランクトン量の指標であり、植物プランクトンは二枚貝やホヤ等の餌となる。